
20. 本年度クラブ事業計画

2015. 7～2016. 6

(1) 会員組織委員会	43
(2) 会員選考・職業分類委員会	43
(3) 会員増強委員会	47
(4) ロータリー情報伝達委員会	47
(5) 出席委員会	48
(6) クラブ会報委員会	48
(7) 親睦活動委員会	49
(8) 雑誌・広報委員会	49
(9) プログラム委員会	50
(10) ニコニコBOX委員会	52
(11) 会 計	52
(12) 会場監督 (SAA)	52
(13) クラブ管理・運営委員会	53
(14) 職業奉仕委員会	53
(15) 社会奉仕・環境保全委員会	54
(16) 青少年奉仕委員会	54
(17) 国際奉仕委員会	55
(18) ロータリー財団委員会	55
(19) 米山記念奨学委員会	56
(20) 会計監査	56

20. (1) 会員組織委員会

委員長 千葉 省 三
副委員長 大 神 田 正 浩

会員組織委員会はクラブの根幹を預かる重要な委員会であり、会員増強及び退会防止に注ぎたいと思っています。

また家族例会や夜間例会(炉辺会合)等を通じてロータリー情報の正確な伝達を目指すと共にクラブ会員の活性化に尽くしたいと思います。

本年度予算額	5,000円
--------	--------

20. (2) 会員選考・職業分類委員会

委員長 小 澤 興
副委員長 鹿 志 村 高 道

推薦された新入会員候補者を個人的な面で審査致します。

ロータリー会員の第一の資格は職業分類ではなく、この職業分類を持った人の中で人間的に立派な人を選ぶということになっております。本年度も昨年度の続き会員増強が出来るよう、職業分類表の充填、未充填について見直しを行い、入会希望者が適正に入会出来るように致します。

本年度予算額	4,000円
--------	--------

充 填 ・ 未 充 填 職 業 分 類 表

(平成 27 年 7 月 7 日現在)

職 業 分 類	開 放 数	会 員 数	未 充 填 数		
			未 充 填	充 填	計
1. 医療・医薬品	8	4	4	4	8
2. 食品・雑貨	1	1	0	1	1
3. 金融・保険	4	3	1	3	4
4. 輸送・梱包	1	1	0	1	1
5. 電気・機械工業	9	7	2	7	9
6. 燃料	1	1	0	1	1
7. 建設・建築	10	8	2	8	10
8. 旅館・飲食	2	2	0	2	2
9. 教育	3	1	2	1	3
10. 情報・マスコミ	3	1	2	1	3
合 計	42	29	13	29	42

大 分 類	小 分 類	会 員 名	●未充填 ○充 填
1. 医 療 ・ 医 薬 品	(1) 内科医	瀬 尾 文 洋	●
	(2) 産婦人科		○
	(3) 歯科医		●
	(4) 眼科医		●
	(5) 皮膚科医	石 川 悟 小 澤 興 山 本 忠 安	●
	(6) 泌尿器科		○
	(7) 病院長		○
	(8) 老人福祉		○
2. 食 品 ・ 雑 貨	(1) 生花販売	大 森 孝 之	○
3. 金 融 ・ 保 険	(1) 商業銀行	鈴 木 俊 彦	○
	(2) 保険代理業	高 島 章 行	○
	(3) 証券会社	木 内 友 則	●
	(4) 生命保険		○
4. 輸 送 ・ 梱 包	(1) タクシー業	川 崎 健 輔	○
5. 電 気 ・ 機 械 工 業	(1) 家庭電気器具製造	豊 島 久 則	○
	(2) 電気部品製造	鈴 木 幸 一	○
	(3) システム・エンジニアリング	信 太 克 己	○
	(4) 電気機械器具製造	星 勝 治	○
	(5) 電気機器製造	弓 野 博 司	○
	(6) ネームプレート製造	石 川 國 博	○
	(7) 機械	鹿 志 村 高 道	●
	(8) 電気鍍金		○
	(9) 家庭電気器具修理販売		●
6. 燃 料	(1) 燃料油・ガス販売	宮 本 尚 彦	○

大 分 類	小 分 類	会 員 名	●未充填 ○充 填
7. 建 設 ・ 建 築	(1) 建設業	秋 山 光 伯	○
	(2) 土木建築業		●
	(3) 石材販売	朝 日 正 道	○
	(4) ビルメンテナンス	池 澤 健	○
	(5) 配管工事	大 神 田 正 浩	○
	(6) 電気工事	佐 藤 信 彦	○
	(7) 管工設備機器販売		●
	(8) 塗装業	千 葉 省 三	○
	(9) 塗装卸	荒 川 浩 信	○
	(10) サッシ業	千 葉 隆 一	○
8. 旅 館 ・ 飲 食	(1) 創作料理	川 村 昌 弘	○
	(2) 日本料理	白 土 仙 三 郎	○
9. 教 育	(1) 国立大学		●
	(2) 私立大学		●
	(3) 私立高校	小 室 幸 久	○
10. 情 報 ・ マ ス コ ミ	(1) 書籍販売		●
	(2) 情報管理		●
	(3) 映像製作	木 本 貴 一	○

20. (3) 会 員 増 強 退 会 防 止 委 員 会

委 員 長	白 土 仙三郎
副委員長	川 崎 健 輔
委員	佐 藤 信 彦
委員	千 葉 隆 一

- ・ 委員会を月 1 回開催しクラブ内外の情報を共有し、増強・退会防止について活動する。
- ・ 委員会はメンバー4 人の他に石川会長、千葉副会長、川村幹事、池澤副幹事に
も必ず出席してもらう。
- ・ 8 月にアンケートを実施する。
「ロータリーに入って良かったこと」「ロータリークラブの魅力」
「日立南ロータリークラブの魅力」「会員増強と退会防止について思うこと」
「日立南ロータリークラブについて思うこと」等、メンバーの思いについて
記入してもらう。
- ・ アンケートに 1 人以上の入会希望者（予定者、入会してもらいたい人）を
推薦してもらう。
- ・ アンケートを実施、月 1 回の委員会でそれらを参考にして石川会長を中心に委員会 川崎・佐藤・
千葉(隆)・千葉(省)・川村・池澤・白土 8 人で会員増強・退会防止に 1 年間取り組んでまいりま
す。

会員の皆様の絶大なる御協力をお願い致します。

本年度会員増強目標 3 名
退会会員 0 を目指します。

本年度予算額	4, 000円
--------	---------

20. (4) ロータリー情報伝達委員会

委員長 信太克己
副委員長 木内友則

本年度委員会は、RI 会長は“世界へのプレゼント”地区ガバナーは“初心にかえり・新たな一歩”そして、石川悟会長は“ロータリーを熱く”のテーマを掲げられました。その第1の目標は、「例会の活性化・委員会活動の活発に！」です。ロータリーの原点は、“例会を楽しもう”から始まり、その中から会員同士が「向上奉仕」に向け、熱く語り合い理解し合いながら活動を広げて行ければと思います。特に新入会員には例会の雰囲気早く慣れ、溶け込んで戴く為に情報委員会として「炉辺会合」等を通じて、ロータリーの情報を伝える様努力して行きたいと思っています。

本年度予算額	4,000 円
--------	---------

20. (5) 出席委員会

委員長 宮本 尚彦
副委員長 荒川 浩信

出席はロータリーの基本的な必要事項です。出席により相互理解と親睦が生まれ奉仕活動の気運を高め日常の身近な諸問題に傾注する事と思います。
例会毎に出席率を発表し関心を高めメイキャップ、炉辺会合、親睦会への参加により100%出席率達成を目標と致します。
例会の出席が一腹の清涼感に成る事を願います。

本年度予算額	4,000 円
--------	---------

20. (6) クラブ会報委員会

委員長 佐藤 信彦
副委員長 高島 章行

石川悟会長方針に則り

- ① ホームページとリンクした週報の作成。
- ② 「みんなのためになる」週報の作成。
- ③ ゲスト及び希望者の為に例会受付に毎回3部週報作成。

本年度予算額	280,000円
--------	----------

20. (7) 親睦活動委員会

委員長 千葉 隆一
副委員長 池澤 健

ロータリークラブ運営の原動力は親睦活動から。それを実現するために
会員とご家族との交流を目的とした親睦例会を開催する。
会員のみならずご家族参加の例会を年3回開催しロータリーへの理解を深める。
会員の結婚記念日のお花プレゼント実施の継続
常に新しい企画をもって会員が参加したくなる様な親睦例会作りを行いたいと思います。皆様
方の御協力をお願いしたい。

楽しい企画をもって会員が参加したくなる親睦例会作りを行いたいと思います。
一年間、宜しくお願いします。

本年度予算額	550,000円
--------	----------

20. (8) 雑誌・広報委員会

委員長 弓野博司

副委員長 信太克己

- 「ロータリーの友」の購読はロータリアンの三大義務のひとつであり購入するだけでなく読まなければならない。
- ロータリーの情報誌で有る「ロータリーの友」を購読することによりロータリー会員がロータリーの活動の「目的」や「意義」を理解する。
- ロータリー会員及び会員以外の地域社会に向けロータリー活動を広報誌やマスコミに発信することにより我々、日立南ロータリークラブの「目的」や「意義」を理解していただく。

上記を実現する為に

毎月例会にて会員に対しロータリー情報誌である「ロータリーの友」の今月号を紹介する。

今年度の日立南ロータリークラブの活動を情報誌やマスコミに向けて発信致します。

皆様のご協力をお願い致します。

年度予算額	5,000 円
-------	---------

20. (9) プログラム委員会

委員長 星勝治

副委員長 宮本尚彦

クラブの活性化を図るを第一に掲げ、プログラム活動を通し、会員相互の理解と融和をはかり、クラブ活動が楽しく遂行できる事を望み、本年度の会長方針に基づき、計画を幹事プログラム委員会で協議し作成しました。

本年度予算額	5,000 円
--------	---------

2015～2016年度 プログラム予定表

	第 1 週	第 2 週	第 3 週	第 4 週	第 5 週
7月	7日 会長・幹事挨拶 会長・幹事	14日 委員会方針 担当 理事	21日 クラブフォーラム 今年度クラブ運営について	28日 クラブフォーラム 今年度クラブ運営について	
	ひたちサンドアートフェスティバル 7月19日(日)				
8月	4日 卓話 会員増強退会防止委員会 会員増強・拡大月間	11日 クラブフォーラム ガバナー補佐訪問	18日 ガバナー公式訪問	25日 (夜間例会) 家族同伴納涼夜間例会 親睦委員会	
9月	1日 卓話 青少年奉仕委員会	8日 卓話 出席委員会	15日 卓話 会場監督	22日 休会 (国民の休日)	29日 卓話 新入会員卓話
	基本的教育と識字率向上月間 よかつぱ祭り(未定)				
10月	6日 卓話 米山奨学会	13日 優良従業員表彰 職業奉仕委員会	20日 休会 (IFF)	27日 卓話 ニコニコBOX	
	経済と地域社会の発展・米山月間 IFF 10月14日～				
11月	3日 休会 (文化の日)	10日 卓話 ロータリー財団	17日 卓話(IFF報告) 国際奉仕委員会	24日 職場訪問 職業奉仕委員会	
	ロータリー財団月間				
12月	1日 クラブ協議会 年次総会 次期理事・役員選出	8日 クラブフォーラム 前期を省みて 会長・幹事	15日 卓話 選考・分類	22日 (夜間例会) 家族同伴忘年例会 親睦委員会	29日 休会 (年末)
	疾病予防と治療月間				
1月	5日 (夜間例会) 新年例会 親睦委員会	12日 名誉会員卓話 日立市長	19日 商工会議所会頭卓話 会頭	26日 休会 (IM振替)	
	職業奉仕月間 第一分区 IM 1/23(土) 於.				
2月	2日 卓話 ロータリー情報伝達委員会	9日 卓話 職業奉仕委員会	16日 卓話 クラブ会報	23日 卓話 社会奉仕委員会	
	平和と紛争予防/紛争解決月間				
3月	1日 卓話 国際奉仕委員会	8日 卓話 新入会員卓話	15日 卓話 パスト会長	22日 卓話 会計	29日 卓話 雑誌広報委員会
	水と衛生月間				
4月	5日 卓話 社会奉仕委員会	12日 (夜間例会) 家族同伴観桜例会 親睦委員会	19日 休会 (地区大会振替)	26日 クラブ協議会 地区大会報告	
	母子の健康月間 地区年次大会 4/16日(土)～17日(日) 於.				
5月	3日 休会 (憲法記念日)	10日 卓話 青少年奉仕委員会	17日 卓話 国際奉仕委員会	24日 クラブフォーラム 会長エレクト	31日 クラブフォーラム 次年度計画
	青少年奉仕月間				
6月	7日 クラブフォーラム 本年度委員会	14日 クラブフォーラム 本年度委員会	21日 卓話 会長エレクト	28日(夜間例会) 1年間を省みて 会長・幹事	
	ロータリー親睦活動月間				

20. (10) ニコニコBOX委員会

委員長 川崎 健輔
副委員長 佐藤 信彦

今年度も【ニコニコBOX】は、クラブ奉仕の資金源として、大事な事業であります。会員の皆様が祝う事があれば 多少のご寄付をお願い致します。予算書に達成しますようご協力お願い致します。

本年度予算額	20,000 円
--------	----------

20. (11) 会 計

委員長 鈴木 俊彦

会長の方針に基づき、各委員会が円滑な活動ができるよう予算編成に協力いたします。
また、収支を厳正に管理し、明確で適正なクラブ財政の運営に努めます。

20. (12) 会場監督 (SAA)

委員長 高島 章行
副委員長 千葉 隆一

本年度石川会長方針に則り、外部講師卓話やプログラム変更に対応し
「ロータリー活動の基本は例会参加にあり」を实践いただくために
会員の皆様に興味をもっていただける例会運営を心掛けて行きたいと思ひます。

本年度予算額	30,000 円
--------	----------

20. (13) クラブ管理・運営委員会

委員長	池澤 健
副委員長	大森 孝之 瀬尾 文洋

クラブ運営に対しての各委員会をフォローして一年間活動していきたいと思います。
自分自身初めての委員会なので私なりに考えながらまた違う活動を心掛けます。

本年度予算額	5,000 円
--------	---------

20. (14) 職業奉仕委員会

委員長	鈴木 幸一
副委員長	木本 貴一

会職業奉仕はロータリーの活動の中で、もっともロータリーらしさのある、基本的な活動である、と言われています。

会員各自の職業論理を高め、高潔な精神を持って仕事に励むことができるよう、委員会の活動を進めたいと思います。

2015～2016 事業計画

1. 職業奉仕に対する卓話(外部者を予定)
2. 会員事業所の優良従業員表彰
3. 職場訪問(訪問会社未定)
4. 例会において、各職場の取り組みや新規の事業などのスピーチ

本年度予算額	100,000 円
--------	-----------

20. (15) 社会奉仕・環境保全委員会

委員長 鹿志村 高道
副委員長 朝日 正道

ここ数年我クラブは障害者組織の支援を中心に行ってまいりました。今年度も精神障害者自立支援組織NPO法人「日立ふきのとうの会」と日立市立日立特別支援学校の支援を行っていききたいと思います。

「日立ふきのとうの会」の支援

1. 作業所が作った七味唐辛子、梅ジャム、野菜等の購入
2. ふきのとうよろしく市の支援

日立特別支援学校の支援

1. 体育祭、卒業式、入学式の参加
2. 補助金を利用したのドラムセットの寄付
3. 生徒の就職活動の支援

その他日立市及び各団体が行う社会奉仕関連の支援

皆様の御協力御願いたします。

本年度予算額	150,000円
--------	----------

20. (16) 青少年奉仕委員会

委員長 朝日 正道
副委員長 弓 野 博 司

ロータリーには5つの奉仕部門があります。第5の奉仕部門、最も新しいのが、青少年奉仕です。

子供たちへの教育、母子の健康の改善、家族の健康な生活の支援、これらは新世代への奉仕です。また、ポリオ撲滅を通じ、次世代の子供たちがポリオのない世界に生まれてくることができるようにすることによって、私たちは新世代に奉仕します。ローターアクト、インターアクト、RYLA(ロータリー青少年奉仕指導者養成プログラム)

青少年交換などのロータリーの青少年プログラムは、青少年奉仕の非常に重要な部分を占めます。今日の青少年は、未来のリーダーであるということを忘れてはなりません。若いリーダーを育成すること、そして彼らを新会員として迎え入れることによって、私たちは地域社会をより良くし、ロータリーの未来を確かなものとすることができます。

以上述べた様に青少年奉仕はロータリーの未来を支える重要な奉仕部門であります。

本年度石川会長の事業方針を受け以下の事業を展開致したいと思います。

1. 日立南R. C杯ミニバスケットボール大会の支援
2. 地域の青少年奉仕の支援
3. 2820 地区の青少年奉仕プログラムの参画

一年間宜しく御願いたします。

本年度予算額	150,000 円
--------	-----------

20. (17) 国際奉仕委員会

委員長 荒川 浩信
副委員長 木本 貴一

国際奉仕とは、奉仕の理想に結ばれた事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善と平和を維持する事を基本とし、会員の間に広い見識に基づく国際理解と善意を育てる事がロータリーの国際奉仕の明確な目標だと思われます。

石川会長の方針に従い姉妹クラブ締結8年目であるワイキキRCとの交流を深めるとともに短期交換留学の実施、さらには国際ロータリークラブとして広く国際奉仕を実践してゆきたいと考えております。

1. 姉妹クラブ ワイキキRCとの短期交換留学の実施
2. ワイキキRCインターナショナルフードフェスタ（IFF）への参加
3. 世界社会奉仕（WCS）を活用した「この指止まれ」事業への参加

本年度予算額	350,000 円
--------	-----------

20. (18)ロータリー財団委員会

委員長 石川 國博
副委員長 鈴木 幸一

財団寄付につきましては、例年とおり

- ・年次寄付は 130ドル（会員1人当たり）
- ・ポリオ寄付は 20ドル(会員1人当たり)
- 合計 150ドル
- ・恒久基金は 1000ドル(クラブ1人ベネファクター)

地区補助金は教育一般として

日立市特別支援学校生徒に対し、自立を図る音楽教育の一環として楽器を提供します。予定金額は 400ドルです。

グローバル補助金は2カ国以上の地区からクラブが協同提唱して行うものに参加する予定です。

ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)への入会者を2名増員する目標です。

今後とも皆様方のご協力をよろしくお願い致します。

20. (19) 米山記念奨学委員会

委員長 木本 貴一
副委員長 小室 幸久

今年度も世話クラブとして米山奨学生を1名お預かりしています。

遠大な計画のもと、国際親善につながる米山奨学生にとって有意義な体験ができますよう、バックアップをしていきたいと考えています。

今年度も普通寄付金は¥5,000 ありますが、人頭¥25,000 を目標として、次年度につながる寄付をお願いしていきたいと思えます。

とかく当クラブに於いては、寄付者の偏りが過去において見られましたが、会員全員の理解と協力により、寄付をクリアーできますよう啓蒙していきたいと思えます。

20. (20) 会計監査

委員長 山本 忠安
副委員長 豊島 久則

役員理事会の方針に基づき各委員会が円滑な奉仕活動ができるよう適正な収支が図れた予算編成に協力し幹事・事務局との連帯のもとクラブ資金を厳正に管理し収支状況を常に明確にする等クラブ財政の健全性監査に努めます。